



H

ostelling

Magazine

巻頭インタビュー

小藪 千豊

「旅で人生が変わる」って、
ちょっとわからんでもないな。

Hostelling Magazine × 地球の歩き方

www.arukikata.co.jp

デザインとおとぎの国
デンマーク

Youth Hostel Pick up

都市型ユースホステル
だからこそその快適性を追求し続ける

新大阪ユースホステル

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





いつだって
どこだって

LUNCH PACK



ぼくらのミカタ。ランチパック



水と生きる

私たちには
100年先を考えておくことができる。

私たち人間は体の約60%が水、他の動物や植物はそれ以上。
「水」が「いのち」を輝かせている。
「いのちの未来」を考えることは、「水の未来」を考えることでもありました。
「水」は、「天と地を結ぶ大自然の営み」がもたらしてくれる恵み。
でもその自然は、何もしていないとやがて力を失ってしまいます。
私たち人間にできるのは、大自然に手を差し伸べることでした。

私たちサントリーが、森を育て水をはぐくむ活動を続ける理由もここに 있습니다。
すべて水の恵みから生まれるサントリーの飲料。
人間が自然との幸福な関係を続けることで生まれたものたちが、
きつといい未来をつくる。
そう信じて、私たちサントリーは今日も仕事をしています。

ずっとずっと、
水と生きていけますように。

水と生きる SUNTORY

NEWS!

「水と生きる」デジタルミュージアムの
入り口はこちら。

<http://suntory.jp/MIZUTOIKIRU/>





Vision

Principle and Philosophy

Inclusivity

世界を超えて

Learning and Understanding

考えよう

Sustainability

僕らと子ども達の未来のことを

日本ユースホステル協会はユースホステルのビジョンに基づき、日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

※本紙の情報は2019年12月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。
 発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会
 編集・発行人 寺島 真
 TEL (03) 5738-0546
 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
 国立オリンピック記念青少年総合センター内
 ※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。
 制作・印刷製本/サンメッセ株式会社

Line up

インタビュー P02

小藪 千豊

「旅で人生が変わる」って、
 ちょっとわからんでもないな。

Youth Hostel Pick up P08

都市型ユースホステル

だからこそ快適性を追求し続ける

新大阪ユースホステル

Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12
 デザインとおとぎの国デンマーク

- おとぎの国の首都コペンハーゲンを歩く
- コペンハーゲンのデザインスポット巡り
- おいしいデンマーク

Sustainable Tourism P18

教えて! 旅GIRL P20

松島むうの晴れときどき旅びより..... P21

Youth Hostel MAP P22

巻頭インタビュー

「旅で人生が変わる」って、
ちよっとわからんでもないな。

吉本新喜劇座長・タレント

小藪 千豊

高校を卒業して1年後の1993年に吉本総合芸能学院 (NSC) の門を叩き、漫才コンビ「ビリジアン」での活動を経て、吉本新喜劇に入団。

やがて歴代最年少で座長に就任した小藪さんは、新喜劇の舞台以外にも活動の幅を広げ、

現在はさまざまな人気バラエティ番組で大活躍されています。

さらに、「ジェニーハイ」や「吉本新喜劇イズ」での

音楽活動にも積極的で、数々の音楽フェスに出演するだけでなく、

自ら「コヤブソニック」を主催し、

音楽とお笑いを融合させたイベントを開催しています。

2019年の11月には吉本新喜劇60周年を記念した

吉本新喜劇ワールドツアー～60周年それがどうした！～を

成功させた小藪さんに、初めての海外一人旅のエピソードや

吉本新喜劇への想いについて語っていただきました。

眠れぬ夜を過ごした 初めての海外旅行

—これまでにお仕事やプライベートでさまざまな土地へ旅行をされてい
ると思いますが、初めての海外はどちらの国を訪れたのでしょうか？

初めての海外旅行は、高校を卒業してプータローしてた時に、オカ
ンに「あんた荷物持ちで連れてったわ!」と連れて行かれたオース
トラリアですね。うちの実家は自転車販売の代理店業を営んでいた
んですが、全国の代理店さんが対象のお得なオーストラリアツアー
がありますよってことで、うちのオカンとオカンの知り合いのおば
ちゃんと3人で行くことになったんです。団体のパッケージツアー
だったんであまり自由時間もなくて、「へえ、コアラや〜」「へえ〜、ペ
ンギンが海から上がってきたな」「羊の毛刈りや〜」とかいう感じ
だったんですけど。

思い出といえば、夜にメシを食い終わった後、一人でふらっと宿の
近くにあったゲームセンターに行ったら、日本のゲームばかりで
(笑)。まあ、でも日本のゲームが海外でも遊ばれていることが逆に
誇らしくなって、とりあえずストリートファイターをやりましたね。

—初めての海外旅行で印象に残っていることはありますか？

滞在中の宿が二人部屋だったんですけど、オカンは知り合いのおば
ちゃんと同じ部屋だったので、僕は新潟からツアーに参加した知らん
人と同室で。真面目で朴訥とした70代後半くらいのおじいさんだっ
たんですが、ゲーセンから帰ってきたらそのおじいさんのイビキがひど
くて……。僕の一族にはあまりイビキをかく人がいなかったんで、全
然寝られへんかったんです。枕を引っ張ったり首の向きを変えたりし
ても、少ししたらすぐ「ガー——!」って……。もうヤバいなって思って、
部屋にあった椅子やら本やら自分のスーツケースやらをおじいさん
と自分のベッドの間に積み上げて壁を作って寝ました。

で、翌朝起きたら、おじいさんが先に起きてて窓の外を眺めてたんで
すよ。まあ、向こうは早ようから寝てるし、田舎のおじいさんやから朝
起きるのも早いですよ。で、「起きられましたか。夜露がこのサッシ
の所にたくさんついていました」っていう。「ああ、そうですか」って
返事をしてから30秒くらいシーンってなった後、「昨日はうるさかった
んですね……」って謝られてしまったっていう。まあ、ミスったな、と。お
じいさんより早く起きてスーツケースを撤去するべきだったな、と。

「根性はないんか？」 オカンの挑発に乗せられ申し込んだ ヨーロッパ人旅

—お母様が小藪さんをオーストラリア旅行に誘ったのは、「海外経
験をさせたい」みたいな想いがあったんでしょうか？

変な経験をさせなければならぬと思っていたんだろうな、とい
うのは大人になってからは感じますけど。「お金を出してでも人とは
違う経験せんと。みんなと同じ経験をしていてもしゃあない」つ
ていうのは、昔からよう言っていましたね。うちはそんな金持ちちゃ
うし、オカンも普段はケチな母親でしたから、今思えば「荷物持
ち」っていうのはあくまでも建て前で、僕に新しい経験をさせてあ

げようとしてくれたんやなと思います。

オーストラリア旅行に行った後、イギリス・フランス・イタリアに一
人旅したんですけど、それもオカンの一言がきっかけでした。

—ヨーロッパに興味があったんですか？

いや、まったくです。流れで行くことになったというか……。たまた
ま家で新聞を読んでいたら、「イギリス・フランス・イタリアの旅
12万円〜」っていう旅行会社の広告があったんです。「ふーん」つ
て見ていたら、オカンが「あんた、プータローしてんなら、こんな
行ったらええねん!」って。で、「いやいや、俺の友達は大学生ばかり
や。一緒に行く奴おらへんから、こんな行かへんわ」って言った
ら、オカンが「ほんなもん、男やったら一人で行くねん!」って。

—お母様、格好いいですね!(笑)。

はい(笑)。で、「行く根性ないんか?」って言われたから、「おお、
行ったらあ!」って。もう売り言葉に買い言葉で行くことになったん
ですけどね。イギリス、フランス、イタリアなんて当時はまったく興
味がなかったですし、まだ趣味のカメラを始める前だし。高校生の
頃はそんな広告を見ても、海外旅行なんかは大人が、それもおじ
いさんやおばさんが行くもので、僕には関係ないと思っていた
んですけど。たまたま、その時はお中元のアルバイト漬けの直後
で、1ヶ月半ほほ休みなしで働きつめだったんで手元に48万円あ
ったんですよ。だから、海外旅行が自分の手の届くところにあっ
たんですね。なにせ「根性ないんか!」って言葉にカチンとなって、行
けへんかったらダサイなと思ったので、すぐに行く段取りをして、電
話して、お金を振り込んで。オカンに上手く乗せられましたね。

15時間のフライトを経て体感した 全く異なる文化を持つ人々の日常

—まったく興味がなかったにも関わらず、その行動力はすごいで
す(笑)。旅行前には情報収集などされたのでしょうか？

そうですね。まったく行きたいって気持ちはなかったんですけど、
それでも一応、旅の本みたいなのがあるじゃないですか?それで
現地のことを調べてみましたね。今だったらスマホがありますけ
ど、あの頃はそんなないですから。本屋で立ち読みして、イギリ
スはこんなあるな、こんなもあるなって。で、ならここだけは
行こうかって。ウェストミンスター寺院とかビッグ・ベンとか。ほ
んで、あとはどこ行ったらいいかわからなかったんで、大英博物館
とか美術館ばかりでした。当時はネットでおいしいごはんとか
も今みたいに調べられなかったから。

—ヨーロッパ旅行で最初に滞在されたのはどの国でしたか？

まずはイギリスに着いて、空港に降りたら「コヤブさん」っていうカー
ドを持った出迎えのおばさまがおって、その人に宿まで車で連れて
行かれて。車内では「イギリスに来る方はパンクバンドのライブに行
きたがるんですけど、ライブは危ないで行かん方がいいですよ」と
か「治安は基本的に良いけど、この辺りよこの辺りには気をつけて」と
か、滞在中の注意事項に関する説明を受けて。ほんで、「3日後の10

時にここで待ち合わせね」と宿で降ろされました。到着後は宿にいてもやることないんで、スーツケースを部屋に置いた後はすぐに出かけました。

宿を一人で出た時に、現地の人々がバーって目に入ってきたんですよ。ロンドンバスから大人も子どももおじいちゃんおばあちゃんもいろんな人がグワーって降りてきた時に思ったんです。日本で僕が小学校に行ってる時も、中学校でバレーボールやってる時も、高校の時にコンパやりまくってた時も、こんな遠いところで、この人らは生活してたんやっことに改めてびっくりしたんです。当たり前のことなんですけど「僕が日本で寝ている時に、この人らは起きてたんや」とか。ちっちゃい子を抱いているファミリーを見て「ああ、僕がメシ食ってる時、こんな遠いところでこの子どもを出産してたんや」とか。その時に僕が乗れる一番早い乗り物を15時間乗って着いた先に、生活している人がおったんやっことにすごいびっくりして。

——有名な観光地じゃなくて、何気ない生活が見えたところが当時の小籾さんにとって衝撃だったんですね。

それまでは「旅に行ったらな、人生が変わるぞ」とか言ってるやつがおったら「黙れ、おらあ!」とか思ってたけど、ロンドンの街の様子を見て「ちょっとわからんでもないな」と思いましたね。人生が変わるってことはないですけど、ああ、めっちゃ遠いところに人がおったんやっことにすごいびっくりしました。当たり前すぎて向こうの人もそう思うかはわからないですけど。だから帰ってきてても、僕なんかは普通にテレビ見て、ごはん食べてって瞬間に、イギリスではあの人らが生活してて、日本とは全然違う文化で生きてんねんって。めちゃくちゃ遠い場所でも、人々が同じ時間軸で生きてることがすごい不思議で。

「腕一本くらい折られても」 と思っはいたけれど……

——滞在中は現地の人とコミュニケーションを取ることに抵抗はありませんでしたか？

中学までは勉強してたので、「写真撮りましょうか?」とか、「ここに行きたいんですけど」とかは、英語で喋れてましたね。たどたどしかったけど。でも驚いたのは、ヨーロッパ人はみんな英語がペラペラかと思いきや、僕と同じようなレベルの人もいっぱいいたってということ。僕がイタリアで道に迷った時のことなんですけど、パチカン市国でも行こかってタクシー捕まえて向かったんですけど、まあ訳のわからん塀の外に降ろされて。「ここや!」みたいなこと言われて。でも入れないんですよ。入り口なくて。で、今みたいにスマホの地図アプリとかないから方角もわからないし。それで、ずーっと塀沿いを歩き続けて。でも行けども行けども壁ですよ。「世界一ちっちゃい国」と言えどもでっかいから。どうしたもんかと困っていたら、ちっちゃいシスターが歩いて来たんですよ。で、もうこれ以上歩くのは嫌やったんで、「僕はパチカン市国へ行きたい。どう行ったらええねん?」って話しかけたら、「ああ、私も今から行くからおいでおいで」みたいな。で、歩きながら「あなたはどちらから?」って聞いたら、「スペインのマドリッド」って。「そちらは?」って聞かれたので「ジャパン」って言ったら「そっ

かー!」ってなって。それがきっかけになってそのシスターはめっちゃ話しかけてくれたんですけど、何を言ってるのかさっぱりわからなくて。何度も聞かれて、ようやく判明したのが「ワッチャネーム(What your name)?」って言ってたっていう(笑)。それで、「あ、スペインの人も英語は喋られへんのか」ってなんか安心しましたね。

——現地で迷わなければなかった出会いですね。初めての海外一人旅ということで怖い体験はありませんでしたか？

僕、この時の旅で腕一本折られるぐらいのトラブルなら起こってもええかなって思ってたんですよ。財布をすられたり、パスポート失くして大使館を探してお金借りて帰るぐらいのことがあった方が、一生ネタとして喋れるなと思ったから。

でも、イタリアに着いた時、空港で出迎えてくれた方に宿までの車中で、「現地で仲良くなった人に『ちょっとそこにバーがあるから行かないか?』って誘われてついて行くと、暴力バーで50万円取られてボコボコにされるよ」っていう話を聞いたんです。「いや、さすがにボコボコは嫌やん」って思っ。ほんで、50万円なんて持ってないから、ボコボコになる確率がさらに高なるなって(笑)。イギリスでは「パンクバンドのライブは〜……」って言われても、フランスでは「売春ストリートみたいなのところに行くのは〜……」と言われても、「そうですかー」くらいなもんだっただんですけど、それだけは怖くなって思っただけです。

——ボコボコだけは嫌だったんですね(笑)。

そんな話を聞いた日の、夜10時半くらいかな?ローマの坂道を歩いていたら、地図を広げて真剣に見ている人がいるんですよ。迷ってはるんだなって思っていたら、「おい、僕ここにいきたいんだけどわからん?」って話しかけてきたんで「知らん。僕、日本人やからわからへん」って答えたんです。後から考えるとイタリアだったのに英語で話しかけられてたんですよ。でも、その時はおかしな思っわないんですよ。で、相手が「わからへんか。日本人やもんな、ごめんごめん」って。「あー、全然」って返したら、「お前どこから来た?」って言うから。「トウキョウ?キョウト?」って。だから「いや、大阪だ」って言う。「おお、オオサカか」みたいな。それで僕も暇やし、「どこから来たんですか?」って聞いたら「アルゼンチーノ!」って言うから。発音良かったし、アルゼンチーノってなんやっ(笑)。でも、ああ、アルゼンチンのことかと思っ「バティストウータ、マラドーナだよな?」って聞いたら「おお、そうや」って。サッカーはあまり詳しくなかったんやけど、なんとなく盛り上がって道端で喋ってたら、「ちょっとそこにバーがあるんやけど」って。

——おっと、それは……(笑)!

「あーっ!このフレーズ!」って思っ。だから修学旅行生を装って「NO!NO!アイアムスチューデント!ティチャーアングリーアングリー!」って断って。それでも「行こう、行こう!」って誘ってくるんで、「嫌や、もう遅いし、ティーチャーアングリーや。バイバイ、バイバイ」って言うて。そんなら、そのおっさん道に迷ったはずなのに、その間の細い路地をバーって行ってしまっ。「迷ってたんちゃうかい!」って。やっぱり、騙されそうになってたんでしょね。

他にも、コロッセオの近くで映画の『マトリックス』みたいな黒ずくめの二人組に全力で追いかけられたり、地下鉄で若者にメンチ切られて追いかけて返したり……。

——たった3日間で?イタリアは思い出深いですね。

フランスでもありましたよ。『キャプテン翼』に出てくるモンマルトルの丘を見に行ったら、「お前の似顔絵描かせろ」っておっさんに言われて、「なんぼや」って聞いたら「いや、お金はいらんいらん」みたいなこと言われたから、じゃあ描いてもらおかって。クリスマス前の冬空の下、寒い中で1時間くらいかかって「長っ!」って思いましたよ。「もうええ、もうええわ」ってこっちが何度帰ろうとしても「いや、もうちょっとや」って引き止めてくるんで、マジなトーンで「もうええから!」って言ったら「よし、できた!」って。パッと完成した絵を見たら、めっちゃ下手で……。

——1時間も待ったのに……。

1時間描き続けてはいたから、線の量は多かったですよ。でも、まったく似てないし、絵も全然上手くないし、1時間損したし、寒かったし……それでも「ありがとう」って言うたら似顔絵を丸めて輪ゴムで留めて、「はい」って渡してきたんです。さすがに何も渡さないのもアレやしなって思って、ポケットを探って出てきたコインを渡したら「え? 何やこれ」って顔されて。お金を渡すのが失礼にあたるのかと思ったら、スケッチブックに約5,000円分の金額を書いて見せてきたんです。その時、こっちもイラついてたんで日本語で言ったんですよ。「お前さあ、めっちゃ下手やんけ! こんなんでも5,000円も取るの!? 俺がハウマッチて聞いた時に何も言わへんかったやないか! 何でこんなに払わなきゃあかんねん! 逆にお前が5,000円払え!」って。そしたら向こうがめっちゃ拗ねだして、画材を片付けて立ち去ろうとしたんで、「ほんなら払ったるわ!!」って5,000円分払って帰ったんです。部屋に戻って改めて絵を見たら、ほんま美術の時間にツレがだるそうに描いた絵みたいで……「なんじゃこれ!」って思ってくしゃくしゃにして捨てました。今思えば逆にとっとけばよかったかな。

ほんのり甘酸っぱい小さな恋の物語

——すごいエピソードですね。それだけネタというか、思い出がいっぱいあるんですね。

あとは、オルセー美術館やったと思うんですけど、めっちゃ可愛い子と作品を見るサイクルが一緒やったんですよ。最初、展示室に入ったときにぶつかりそうになって「あっ」ってなったんで、「ああ、いえいえいえ」って2人とも距離とって。で、僕はそんな美術も知らんから次に行って、わーって見ていて。また違うところでその子と鉢合わせになって、「あっ!」って。違う回り方してるのに、なんでですかね。会うんですよ。で、帰りしな、出ようと思ったら、出るタイミングも一緒やったんですよ。向こうも目が合って笑ってるから。その時に、しばらく出口まで同じ距離で歩いてるんですよ。「いや、これは誘うべきなのか? これ完全にキてるやろ」みたいな。なんやったら、僕の中では2回目くらいから手応えがあったんですね。

——(笑)。



Profile

小藪 千豊

1973年大阪府生まれ。

吉本新喜劇座長。1993年にお笑いコンビ「ビリジアン」を結成。2001年に解散後、同年に吉本新喜劇に入団。約4年という異例の早さで座長に抜擢される。

新喜劇以外にも活躍の幅を広げ、東京でタレントとしても活動。また、2008年よりお笑い音楽を融合させた野外フェス「コヤブソニック」を主催したり、バンド「吉本新喜劇イズ」や「ジェニーハイ」を結成し、ドラマパートを担うなど、音楽活動にも意欲的に挑戦中。



スタイリスト:内野陽文/フォト:小林潤次(七彩工房)

<アイテム/プライス(税抜)/ブランド/問い合わせ先>
overall/¥52,800/NEAT/NISHINOYA/NISHINOYA
(tel:03-6434-0983)
overcoat/¥92,400/copano86/Milok/Milok
(tel:03-6455-1440)
その他/スタイリスト 私物

でも、その後、また帰りしなに会ったので、誘うべきか、誘わないべきか。誘って、行こうって言っても、行き先は宿しか知らんし、メシ屋も知らんし、しかもフランス語やから。でも、まあ向こうもフランス人かどうか分からないから。いやーって迷って、迷って、ずうーっと出口まで行って。帰りしな、行きかけた時にこっちをちらって見たんですよ。「バイバイ!」みたいなの。で行っちゃったんですよ。で、いまだにあの時誘っておけばよかったって。

— ご縁がありますね、みたいな感じだったんですかね。

僕の嫁さんがね、外国人になってたかもわからない。まあ、誘ってもどこ行けば良いかわからないし、何を喋っていいのかわからないし(笑)。

西日本に留まらず、全国、そして海外へ これから先、 吉本新喜劇を長く続けていくために

— そんな経験も糧にされて、現在は吉本新喜劇の座長として海外公演にも挑戦されていますよね。

2019年の11月～12月にシンガポール、中国、マレーシア、インド

ネシア、タイの5カ国で公演をしたんですが、現地にいる日本の方を対象に日本語でやったので、僕の中では47都道府県のツアーの延長線上にあるものでしたね。いつかは英語でやりたいなとは思っています。

— 以前、テレビ番組で「いつか全編英語でやりたい」と話されていましたよね。今後は海外での活動を増やしていけるのでしょうか？

テレビで言うたんも、自分の首を絞めるために言葉にしたというのもあるんですよ。全編英語でやりたいっていう構想は、もう10年近くあって、台本はできてるんです。ただ、なかなか覚える気がせんくて……(笑)。

僕が座長にならせてもらって、先人に感謝しながら、同時に将来的に新喜劇に入ってくる子たちのために、これから先も長く続けていくにはどうしたらいいかと考えると、今は西日本のお客さんしか相手してないのはおかしいなと。だから英語で新喜劇をやって、みんなが世界中で営業できるようになったらと思って。例えば、この人は和歌山、この人は熊本、こっちはロサンゼルス、とか台湾とかやっていけば、メシを食える子が増える。そう思って、英会話教室に通ってみたり、いろいろ進めてはいたんですけど、いろいろなこ

とがあつて、なかなか進められなかったり。まあ、言ったからには僕が死ぬまでにはやりたいなあとは思っています。

— 将来的には吉本新喜劇を世界中で楽しめるような道筋をつけたいということですか？

そうですね。ただ、今でもいろんな新喜劇があると思うんですけど、僕だけじゃなくて、先輩も後輩もですけど、大阪の新喜劇の人間が、吉本新喜劇のメンバーだと思っています。なので、他でやる新喜劇も新喜劇っていっちゃあ、新喜劇なんですけど。でもやっぱり、できれば一度大阪に来て見ていただきたいという想いはあります。

— 大阪でしか本物は見られない味わえないってことですね？

東京公演とか、地方公演ももちろんあるんですけどね。できれば大

阪で。ただ、僕らの新喜劇はゴールデンウィークやお正月はもう席がピチピチなので。席を取りたいって言われても、世間と動きを一緒にしたら混んでますねんっていう。比較的時間に余裕がある人は、ゴールデンウィーク明けや夏休み明け、お正月明けは比較的席が空いてるので、そのタイミングで来てください！

— しっかり営業されますね(笑)。

ですね。その時期はチケット代もちょっと安いですし(笑)。「旅に行ったらな、人生が変わるぞ」とは言わないですけど、やっぱりその土地に行ったらわかることはあると思いますよ。

ジェニーハイ



1st Full Album

「ジェニーハイストーリー」 発売中!

unBORDE / ワーナーミュージック・ジャパン

全10曲収録!

なんとアイナ・ジ・エンド(BiSH)とのコラボ楽曲も収録!

[収録曲]

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. シュミナミ | 6. ヘチマラップ |
| 2. ダイエットー典子 | 7. ゲータラ節 |
| 3. 不便な可愛げ
feat アイナ・ジ・エンド(BiSH) | 8. 愛しのジェニー |
| 4. ジェニーハイラブソディー | 9. バレンタイン泥棒 |
| 5. プリマドンナ | 10. まるで幸せ |

<http://genie-high.com/>

CHECK



吉本新喜劇イズ

配信楽曲

「Bicycle Beach」配信中!

YOSHIMOTO MUSIC CO.,LTD.

吉本新喜劇イズが約2年ぶりの新曲配信決定!
各配信サイトにて絶賛配信中!



Bicycle Beach / 吉本新喜劇イズ

PRESENT

小藪 千豊さん サイン入り色紙
抽選で3名様に
プレゼント!

ご応募は日本ユースホステル協会
ホームページの専用
お申込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hm/>

※なお、当選発表は、商品の発送を以てかえさせていただきます。

応募 締切

2020年2月末日



つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.19
まとめてダウンロード



Sustainable Tourism P18



インタビュー P02
小藪 千豊
「旅で人生が変わる」って、
ちょっとわからんでもないな。



教えて! 旅GIRL P20



Youth Hostel Pick up P08
都市型ユースホステル
だからこそ快適性を追求し続ける
新大阪ユースホステル



松島むうの晴れときどき旅びより P21



Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12
デザインとおとぎの国デンマーク
■おとぎの国の首都コペンハーゲンを歩く
■コペンハーゲンのデザインスポット巡り
■おいしいデンマーク



Youth Hostel MAP P22